

# 性の多様性を実践的に学ぶ6つの物語

## レインボーストーリーズ LGBTsと社会 SOCIETY

文部科学省選定①②③

性的指向や性自認の多様性について社会の関心は高まっており、多様性を前提とした地域社会を構築していくこと、その必要性が指摘されるようになってきました。しかしながら、LGBTをはじめとした性的マイノリティ（以下LGBTs）の人々の多くは、自分自身の性的指向や性自認を誰にも打ち明けずに社会で暮らしている場合が多く、その存在は見えづらいものです。多様性を前提としていない社会のなかでLGBTsの人々は、無自覚に発せられる何気ないながらも配慮のない一言によって、非常に傷ついたり苦痛を感じたりすることがあり、時にはそれは思いがけない事態を引き起こすこともあります。

このシリーズは性的指向と性自認をはじめとするあらゆる多様性を尊重した社会であれば、人間関係が豊かになるということを伝える一方、社会の様々な場面でLGBTsの人々が直面する「生きにくさ」の事例をドラマで描き、彼らがどのような心理的ストレスや困難と苦悩を抱えているのかを知り、その背景にどのような課題が潜んでいるのか考えます。職場、家庭、福祉、地域社会といった社会の様々な場面ごとに物語を描き、それぞれの現場での実践的な取り組みに繋がる映像教材です。

### ① 職場 ～声に出せないハラスメント～

450V006S

社会人が生活の中で多くの時間を過ごす職場。ここでは無自覚に発せられる言葉がLGBTs当事者を傷つけ、勤労意欲を低下させたり、メンタルヘルスを悪化させる原因にもなります。そうしたハラスメントをはじめ、トランスジェンダーが直面する就職活動の困難や情報管理の甘さから起こる無自覚なアウトティング、制服規程や同性パートナーを認める社内規程整備の必要性など、職場で起こりうる様々な事例を描き、その課題に取り組むためのヒントを示します。



### ② 家族 ～自分の子どもが当事者だったら～

450V007S

同じ家に住み生活を共にする家族。最も近い存在だからこそ、本当のことが言えず苦しんでいるLGBTsの人々は数多くいます。子どもからカミングアウトを受けた場合、親は前向きに受け入れられるのか。この明暗を分けるのは、わが子との関係性、性的指向や性自認の多様性への理解、そしてLGBTsが身近に存在するというリアリティではないでしょうか。本巻では、性の多様性に関して実感を伴った理解がない親が、ゲイである青年期の息子を追い詰めてしまう様子、親子が葛藤しながら関係を再構築する姿を描きます。



### ③ 公共機関 ～誰もが安心して相談できる窓口へ～

450V008S

LGBTsの人々が福祉サービスを利用するとき、性的指向や性自認に関して対応する担当者の理解の欠如や知識の不足から、「相談しづらい」「意図せずカミングアウトを強要させられる」「発言に傷つく」といったトラブルが起こっています。この巻では、そうした具体例を描きながら、LGBTsの人々を含む誰もが安心して利用できる公的施設の対応を考えます。また、公的施設のみならず、LGBTsの人々への接客や対応を実践的に学びたい企業や団体などでも活用できます。



### ④ 地域社会 ～ありのままで過ごせるコミュニティ～

450V009S

地域社会においては、男女の役割規範やその価値観が根強く残っていることも多く、「まだ結婚しないの?」といった一見したところ何気ない一言がLGBTsの人々を傷つけてしまうこともあります。本巻では、トランスジェンダーの登場人物を中心に誰もが地域社会の一員として、居心地よく過ごすことができるための様々な地域の取り組みの工夫を描きます。「自分の暮らす街にLGBTsの人はいない」と考えがちな地域の中において、無意識の差別をしないかを考えさせるドラマです。



2015年11月に東京都渋谷区と世田谷区で導入された同性パートナーシップ制度は、全国の自治体に影響を与え、現在では130の自治体（2021年10月現在）で導入されるようになりました。同性パートナーシップ制度はLGBTs施策の象徴的な取り組みになりつつありますが、並行して求められる環境整備として、教育・医療・福祉・地域等での取り組みが不可欠です。LGBTsの人々はこの社会にも地域にも存在していることを前提として、性的指向や性自認による格差や不平等を是正するような取り組みが社会的に求められるようになっていきます。

ある病院関係者は「LGBTsの患者さんはこれまでに見たことがない」、ある市役所職員は「うちの市にLGBTsの人はいるのでしょうか。これまでにカミングアウトされたこともなければ、相談窓口に関わり合いがあったこともありません」と話されたことがあります。カミングアウトされたことがないイコール自分の周囲に存在しない、というのは間違いです。LGBTsの人々に対する差別や誤

解がある社会は、安心してカミングアウトできる状況では決してないこと、「本当の自分」について話すことはとても勇気がいるハードルの高いものであることを十分に知ったうえで、取り組みを進めていく必要があります。

性的指向と性自認の多様性を知ること、その啓発と環境整備を進める一助として、「レインボーストーリーズ」を是非ご活用ください。

#### 日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

宝塚大学看護学部教授、日本思春期学会理事

京都大学大学院医学研究科から博士号授与。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員などを経て現職。文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省幹部職員研修・法務省の国家公務員人権研修・人事院のハラスメント研修など、国や自治体の人権啓発事業の講師として各地で普及啓発に努めている。専門は健康社会学、社会学、社会調査など。



## レインボーストーリーズ LGBTsと医療 MEDICAL CARE

文部科学省選定①②

人の命をあずかる医療現場においても、LGBTをはじめとする性的マイノリティ（以下LGBTs）の人たちは多くの困難に直面します。性別違和を持つために受診を拒まれてしまうケースや、同性パートナーの面会を認められない、家族として扱われない…など様々な事例が報告されており、時に生命の危機に直結する事例や同性パートナーを分断するような差別的な対応事例も報告されています。平成28年度の医学教育モデル・コア・カリキュラムでは「ジェンダーの形成並びに性的指向及び性自認への配慮方法を説明できる」という項目が加わり、医療従事者がLGBTsについて学ぶ必要性が明示されました。

本シリーズは医療の現場に焦点を当て、LGBTsの人々が直面する様々な課題について取り上げます。そこに関わる医療従事者をはじめとする周囲の人々が何を考え、どう行動するか具体的なケーススタディを通して学ぶことができる構成になっています。医療や対人援助の道を志す人たちが、性的指向や性自認といった性の多様性への深い認識や人権感覚を養うことを狙いとしたドラマ教材です。

### ① 患者とのコミュニケーション

450V010S

医療や看護に携わる専門家にも性の多様性への理解が求められますが、LGBTsのいずれかであると明確にわかったうえで診療経験はない、という医療従事者も多くおられるでしょう。本来、性的指向や性自認をカミングアウトするかしないかを決めるのはご本人の意思によるものですが、医療現場ではそういったプライベートな情報に接することも少なからずあり、医療従事者ひとりひとりが性の多様性について正しい知識と認識を持った上で、専門職として患者と接することが求められます。

この巻では同性愛者や性別違和を持つ患者とのコミュニケーションにおける注意点をドラマで描きます。先輩看護師とのOJT（On the Job Training）のドラマを通して、無自覚に発せられた言葉が相手を傷つけていないかを考えます。



### ② 誰もが安心して通える病院づくり

450V011S

誰もが安心して受診できる医療機関であること、そのための環境づくりが求められますが、LGBTsの人々にとっては、気軽に受診・通院できないような様々な障壁が存在します。とりわけ、身体の性と性自認が異なり、性自認に基づいて生活したいと思うトランスジェンダーにとっては、男女の区別が前提になっていることが多い医療機関へ行くことをためらってしまい、容体を悪化させてしまう場合もあります。

この巻では、LGBTs当事者やその家族が通いやすい病院や診療環境づくりをドラマ仕立てで考えます。待合室の呼び方から病衣などの問題をはじめ、医療現場で起こりがちな様々な課題を扱い、実践的な取り組みや診療コミュニケーションの在り方に、具体的なヒントを示すとともに、医療従事者が性の多様性を学ぶ必要性を喚起します。



## 関連商品のご案内



### LGBTsの 子どもの命を守る 学校の取組

DVD  
全2巻

- ① 危機管理としての授業の必要性
- ② 当事者に寄り添うために  
～教育現場での落とし穴～

対象 学校教員 (小・中・高)、大学

- 学校・公共図書館版: 各巻19,800円 (税抜18,000円)
- 視聴覚ライブラリー版: 各巻39,600円 (税抜36,000円)

### はじめて学ぶLGBTs

DVD  
全2巻

- ① 男らしい色?女らしい色?  
＜低～中学年向け＞
- ② 好きになってはいけないの?  
＜中～高学年向け＞

対象 小学校

- 学校・公共図書館版: 各巻19,800円 (税抜18,000円)
- 視聴覚ライブラリー版: 各巻39,600円 (税抜36,000円)



### みんなで考える LGBTs

DVD  
全3巻

- ① いろいろな性 ～好きになる性～
- ② いろいろな性 ～心の性・表現する性～
- ③ 性的指向と性自認 (解説編)

対象 中学校、高等学校

- 学校・公共図書館版: 各巻19,800円 (税抜18,000円)
- 視聴覚ライブラリー版: 各巻39,600円 (税抜36,000円)

## LGBTsと 社会

DVD  
全4巻



性の多様性を実践的に学ぶ

6つの物語

## LGBTsと 医療

DVD  
全2巻



# レインボー ストーリーズ

バリアフリー字幕版選択可

時間 各巻 約20～25分

価格 各巻 49,500円 (税抜45,000円)  
(学校・ライブラリー共通価格)

監修: 日高庸晴 (宝塚大学看護学部教授)



小学校  
向け

# はじめて学ぶ LGBTs

監修：日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

## 児童ひとりひとりに 「みんな違ってみんないい」の感性をはぐくむ



同性愛や、性別に違和感を持つ、といった表現をこれまで耳にしたことがあるのではないのでしょうか。レズビアン(L)・ゲイ(G)・バイセクシュアル(B)・トランスジェンダー(T)をはじめとするセクシュアルマイノリティ(以下、LGBTs)といった性的指向と性自認の多様性について、文部科学省をはじめ、各地の教育委員会が積極的に取組を始めています。2020年の小学校教科書改訂においてはじめてこの多様性を扱う教科書も登場し、学齢期の早い段階から学ぶ必要が認識されるようになっています。

本シリーズでは、LGBTsや性的指向・性自認をはじめで学ぶ児童に向けて「多様性」を理解するためのメッセージを伝えます。男女の性別認識や恋愛に関心が薄いと考えられる小学校低～中学年、関心が高まりつつあ

る中～高学年、それぞれの学年に適した物語の展開を描いています。その視聴を通じて児童が考え、相互に意見交換することで、多様性を肯定的に捉える素地をつくり、自分自身のみならず誰をも尊重する姿勢を身につけることをねらいにした映像教材です。

文部科学省選定

バリアフリー字幕版選択可

DVD  
全2巻

対象 小学校

価格

各巻19,800円(税抜18,000円)(学校・公共図書館向け)

各巻39,600円(税抜36,000円)(視聴覚ライブラリー向け)



## 「多様な個性を尊重するためのメッセージ」

就学前や小学生の子どもたちは自分自身の性別や性的指向、性自認などまだわかっていないのではないかと、だからこの時期にLGBTsに関して学ぶ機会はないように思う、あるいは教えるには「まだ早い」といった考えの先生方もおられます。しかし、小学生の頃に初めて性別違和を感じたという当事者の声や、小学校高学年から中学1年生頃に同性に恋愛感情を抱く自分に気付いたと示す調査データもあり、「必要がない」あるいは「まだ早い」とは決して言えません。当事者の児童生徒が性的指向と性自認が多くの人と「違う」と気付く前から、人は生まれながらにして多くの違いがありその存在は多様であることを繰り返し繰り返し伝えていくことが、いつか「自分自身に気付く」経験をする当事者にとって何より助けになります。当事者ではない児童生徒にとっては互いの違いを尊重する基盤になることでしょう。それぞれの違いがまさに個性であり、多様な個性がたくさん集まって世の中を豊かにしているんだというメッセージを複数の先生方が学校内で何度も発信していくことが重要です。

LGBTsといった新しいテーマに学校が取り組むというよりはむしろ、学校が既に直面している多くの課題に性的指向と性自認の多様性という視点から、より丁寧に対応していくことが求められます。性的指向と性自認の多様性への理解を深める一助としてこの映像教材をご活用ください。

### 日高庸晴 (宝塚大学看護学部教授)

宝塚大学看護学部教授、日本思春期学会理事

京都大学大学院医学研究科から博士号授与。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員などを経て現職。文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省幹部職員研修・法務省の国家公務員人権研修・人事院のハラスメント研修など、国や自治体の人権啓発事業の講師として各地で普及啓発に努めている。専門は健康社会学、社会疫学、社会調査など。



## ① 男らしい色? 女らしい色? <低~中学年向け>

18V0009S

小学校低~中学年の児童には「性的指向と性自認」の知識を教えるというよりは、世の中が作り出す男らしさや女らしさといった規範がすり込まれる前に、「人はみなそれぞれ違うこと、その違いがいいこと」「こうあらねばならない、ということを決めてない」といったメッセージを伝えることが大切です。アニメーションにより描かれた色鉛筆と人間との物語を通して、思い込みや偏見にとらわれることの無意味さに気付き、自分らしくあることの素晴らしさ、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を育てる機会とします。

物語の後に教員向け映像を収録し、本編の視聴後にどのような問題提起をすることができるか、授業展開のための具体的な指導案も示します。

(約12分)



## ② 好きになってはいけないの? <中~高学年向け>

18V0010S

小学校中~高学年は他者への関心が高まり、恋愛感情の芽生えを経験する児童もいます。本巻は、同性を好きになった児童の物語を通して、恋愛感情のあり方は決して画一的なものではなく多様であり、異性を好きになる人も同性を好きになる人もおり、いずれかに価値があるのではなくどちらも肯定的に捉えることができる構成にしました。また、小学校中~高学年には自分の性的指向や性自認に気付く児童も少なからず存在しており、そうした当事者児童の自己肯定感が阻害されることなく勇気づけられ、自尊感情を育めるように配慮しました。

物語の後に教員向け映像を収録し、本編の視聴後にどのような問題提起をすることができるか、授業展開のための具体的な指導案も示します。

(約22分)



2019.12SB

企画・制作・発売



株式会社 サン・エデュケーショナル

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-22-8 ユービズ渋谷道玄坂 9F

TEL. 03-5428-5675 FAX. 03-5428-5674

<http://www.sun-edu.co.jp>

# LGBTs

## の子ども命を守る学校の取組

子どものいのちを守るために、  
子どもの人生を変えるために、  
先生の言葉が必要です。

LGBTsの人口規模は少なくともクラスに1~2人程度であると推定されており、自分の担任する児童生徒の中に当事者が存在しているかもしれないという意識を持つことが必要です。しかしLGBTs児童生徒の存在に実際にどのように配慮するのか、どのように性的指向と性自認の多様性を授業で扱うのかそのイメージがつかない学校現場が多くあるかもしれません。



本シリーズは学校でLGBTsの取組の必要性を喚起するとともに、当事者である児童生徒が傷つかないような教員の実践や学校のあり方を提案しています。

日常における当事者への配慮、LGBTsに関する授業、カミングアウトがあった場合の対応例など様々な事柄について、模範的な事例だけでなく、起こりうる落とし穴も描きながら

実践的に理解できるように描きました。視聴することで、「自分でも学校で取組ができそうだ」「授業の時にはこういった言い回しをしてみよう」と実践的な取組に繋がる様々なヒントを得ることができると共に、その時々児童生徒にしっかり向き合っていくことの大切さを伝えます。

これからLGBTsについて取り組もうと考えている小学校・中学校・高等学校の教員の方々、教員を目指す学生の皆様に最適な映像教材です。

朝日新聞(2020年5月18日朝刊)、  
毎日新聞(2020年3月30日朝刊)に  
紹介記事が掲載されました。

## LGBTsに関わる学校教員のための映像教材

# LGBTsの子ども命を守る学校の取組

DVD  
全2巻

監修: 日高庸晴(宝塚大学看護学部教授)

文部科学省特選(2) 選定(1)

- ・学年単位の教員研修に最適。
- ・視聴後にぜひ率直な意見交換を行ってください。
- ・LGBTsに関わる実践的な取組を行うための様々なヒントを得ることができます。
- ・模範例だけでなく、実際の学校現場で起こりうるありがちな失敗例も描きます。
- ・今までLGBTsと関わった経験がないという教員の方にもおすすめです。

①危機管理としての授業の必要性

18V0011S

②当事者に寄り添うために～教育現場での落とし穴～

18V0012S

教員向け映像教材

バリアフリー字幕版選択可

対象: 学校教員(小学校・中学校・高等学校)、大学

価格: 学校・公共図書館版 各巻19,800円(税抜18,000円)  
視聴覚ライブラリー版 各巻39,600円(税抜36,000円)



## 「当事者の立場に立った想像力を持った実践を」

「これまでの教え子にLGBTのいずれかに該当する子はひとりもいなかった」と圧倒的多くの小中高の先生方が仰いますが、LGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ（以下LGBTs）の人口規模を推定する複数の研究結果から、少なくともクラスに1～2人は存在するであろうと考えられています。つまり、受け持ったことや出会ったことがなかったのではなく、先生はカミングアウトされなかっただけかもしれません。

性的指向と性自認、性別表現の有り様が少しだけ異なる、ただそれだけの違いがいじめ被害や不登校、自傷行為の発生要因になってしまうことがあります。最近の学校では、彼らの多くが学齢期に直面する困難な状況を少しでも変えるために、教科学習や教科外においてLGBTsについての取組が始まっています。当事者の児童生徒からカミングアウトされる前に、先生方が学校で多様性について取り組むことは、いじめ・不登校・自傷行為の発生を防ぐことになり、LGBTsの児童生徒の人生と命を守ることに直結します。緊急の対応が求められる有事になって慌てるのではなく、平時からの授業の実施や「何かあったら担任

の先生に、保健室に相談に行ったらいい」というメッセージを伝え続けること、これらの予防的取組がリスクマネジメントの観点からも有効です。自分のクラスにも当事者の児童生徒がいるかもしれない、その子どもたちが生きづらさに直面しているかもしれないと想像力を持ち、教師や学校に何ができるのか考え、実践していくことが今まさに急務となっています。教職員研修でこの映像教材を是非ご活用ください。

### 日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

宝塚大学看護学部教授、日本思春期学会理事

京都大学大学院医学研究科から博士号授与。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員などを経て現職。文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省幹部職員研修・法務省の国家公務員人権研修・人事院のハラスメント研修など、国や自治体の人権啓発事業の講師として各地で普及啓発に努めている。専門は健康社会学、社会学、社会調査など。



## ① 危機管理としての授業の必要性

18V0011S

小学校・中学校の教科書に性的指向と性自認の多様性についての記載が盛り込まれ、学校教育で性的指向と性自認の多様性を理解する取組が始まっています。しかしながらLGBTsの学齢期におけるいじめ被害、自傷行為の高さが国内外の研究で示されており、教育現場は危機管理の一環としてこの問題を捉え、現状を十分認識した上での取組をしなければなりません。

本巻では、LGBTsに関する授業の実現を目指し、学校としてできることを模索していく一人の教師の姿を描きます。取組に抵抗する同僚など実際の学校現場で起こりうる様々な困難も描き、その解決策を考え、問題が起こりつつも一歩前に進めるための多くのヒントを得ることができます。

（約38分）



## ② 当事者に寄り添うために ～教育現場での落とし穴～

18V0012S

教育現場にLGBTsの児童生徒は一定数存在しているにも関わらず、実際にその当事者と対応経験のある教員は多くありません。当事者の多くは、誰にも話すことができずにいる場合が圧倒的に多く、葛藤や苦悩を抱えていることが少なくありません。最大限の想像力を持ち、こういった状況への配慮が求められます。

この巻ではLGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意すべき心得や、学校での取組や授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介します。教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。

（約38分）



2020.06SB

企画・制作・発売



株式会社 サン・エデュケーショナル

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-22-8 ユービズ渋谷道玄坂 9F

TEL. 03-5428-5675 FAX. 03-5428-5674

<http://www.sun-edu.co.jp>

# みんなで考える LGBTs

監修：日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

文部科学省選定

DVD カラー 各巻約20分

バリアフリー字幕版選択可

対象 中学校・高等学校

価格 各巻19,800円（税抜18,000円）（学校・公共図書館向け）  
各巻39,600円（税抜36,000円）（視聴覚ライブラリー向け）

毎日新聞（2019年3月4日夕刊）、読売新聞（2019年3月23日朝刊）  
に記事として紹介されました。

DVD  
全3巻

## 性の多様性について考え、議論する映像教材

性的指向と性自認の多様性について社会の関心が高まっています。新聞などマスコミでも取り上げられる機会が増え、多様な性のあり方への理解が広まっています。2015年4月に文部科学省から通知があったことを受け、全国の教育委員会においても前向きな取り組みが始まっています。2019年の中学校道徳教科書では、義務教育としてはじめてLGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ(LGBTs)を扱う教科書が登場し、学校教育においても性の多様性を学ぶ必要性が認知されつつあります。

「授業実施のための展開案」  
PDF付き



ドラマを収録した第1巻と第2巻には「授業実施のための展開案」PDFが付属します。実際に生徒たちに配布できるワークシートだけでなく、LGBTsに関する様々な統計データや50分授業における授業展開の台割例、本作を使用して授業を進めるための具体的な活用方法を明記しています。ドラマを見て生徒たち自身が考えるアクティブラーニング教材としてご活用ください。

本シリーズは、性の多様性を人間の個性の一つとして学ぶ機会ととらえ、LGBTsの当事者である児童生徒が、ありのままの自分でいいという自己肯定感、自尊感情を育むことを目指した映像教材です。



## 「性的指向と性自認の多様性を知り、人権感覚を養う」

文部科学省は2015年4月に「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」とした通知を、2016年4月には教職員向けの資料を発出しました。さらに2017年「いじめの防止等のための基本的な方針」においても性的指向と性自認について言及、教職員への正しい理解の促進や、学校としての必要な対応の周知を求めています。これらの国からのメッセージに基づいて教育現場では、LGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ（以下LGBTs）に関する教員研修が増加していますが、視聴覚教材が十分でない中で、本シリーズの企画が構想されました。

人は本来多種多様で誰ひとりとして同じではなく、個性豊かな存在であるはずですが、しかしながら世の中の多数派が認める基準から少しでも異なれば、異質な存在と捉えられ、排除されることが多くあります。事実、LGBTsの児童生徒の不登校や自傷行為、自殺未遂の経験が他集団に比して高率であることは複数の調査研究によって示されており、性的指向と性自認が多数派と異なることで、彼らが学校で生きづらさに直面していることがわかっています。

本シリーズでは性的指向と性自認や性別表現の多様性について、マジョリティの視点からマイノリティへの理解を促すのではなく、誰もが多様性を構成する一員であるという視点で学べるようになっています。LGBTsの当事者生徒と非当事者生徒の対等な関係性や友情、困ったときはSOSを出した方がいいこと、直面する生きづらさをふまえてドラマ仕立てで構成されています。

自分が自分であることに誇りを持てるように、多くの方に見ていただきたい教材です。

### 日高庸晴 (宝塚大学看護学部教授)

現職：宝塚大学看護学部教授、日本思春期学会理事、厚生労働省エイズ動向委員会委員

文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省幹部職員研修、法務省の国家公務員人権研修、人事院のハラスメント研修などの講師を務め、国や自治体の事業に従事している。



## ① いろいろな性 ～好きになる性～

18V0006S

異性を好きになるか、同性・両性を好きになるか、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は、嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられています。本巻は、同性愛者（ゲイ、レズビアン）である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える映像教材です。

「授業実施のための展開案」PDF付き



## ② いろいろな性 ～心の性・表現する性～

18V0007S

体の性と心の性が異なるトランスジェンダー、男でも女でもないと思認するXジェンダー、自身の性自認に揺れ動くクエスチョニング…、心の性、表現する性は実に多種多様です。近年は学校などにおける多目的トイレの設置や男女共用制服の整備など、徐々に教育現場でも取組まれてきています。自分が何者であるのかという戸惑いや揺らぎを経験する生徒たちの物語を見て、心の性や表現する性について考えます。

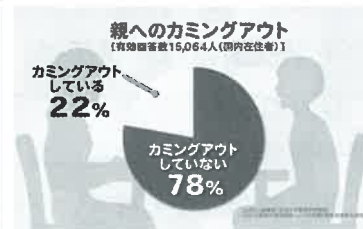
「授業実施のための展開案」PDF付き



## ③ 性的指向と性自認 (解説編)

18V0008S

統計によると、人口の約8%前後がLGBTsであると推定されています。これは30人のクラスでいえば約1~2人の生徒が該当するということになります。しかし、学齢期の早い段階での教育を待ち望まれているが、教員自身の正確な知識や理解が追いついていないという現状があります。本巻では、性の多様性を解説し、LGBTsを取り巻く社会の動きなども紹介し、その理解を深めます。



2018.11SB

企画・制作・発売



株式会社 サン・エデュケーショナル

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-22-8 ユービズ渋谷道玄坂 9F

TEL. 03-5428-5675 FAX. 03-5428-5674

<http://www.sun-edu.co.jp>



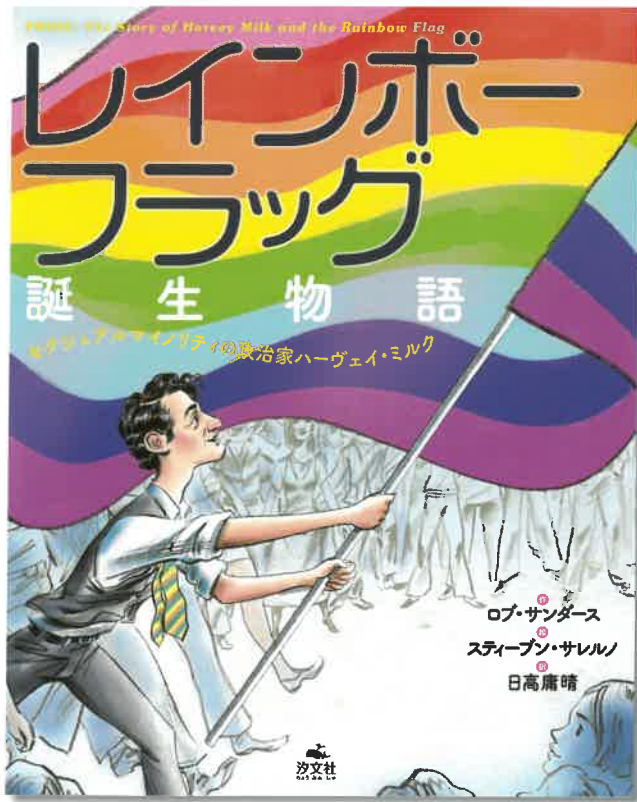
好評発売中!

# レインボーフラッグ誕生物語

セクシュアルマイノリティの政治家ハーヴェイ・ミルク

## レインボーフラッグ誕生の秘密

はじめてゲイであることを公表した政治家ハーヴェイ・ミルクの生涯と、セクシュアルマイノリティの運動のシンボルとなった「レインボーフラッグ」誕生の経緯を描き、静かな感動をよぶ……。研究の第一人者・日高庸晴による初の翻訳絵本!



ロブ・サンダース/作 スティーブン・サレルノ/絵  
日高庸晴 (宝塚大学看護学部教授)/訳  
ISBN978-4-8113-2467-8  
A4変型判上製 48頁 オールカラー  
定価: 本体1,600円+税

ハーヴェイ・ミルクが  
歩んだ道は、  
前人未踏の  
険しい道でした。  
(日高庸晴)



この旗ならみんなに希望を与えられる、とハーヴェイは思った。



この旗は自分たちの旗だと考える人がどんどん増えていった。

好評発売中!

もっと知りたい! 話したい!

# セクシュアルマイノリティ ありのままのきみがいい



全3巻

B5判 各48頁 フルカラー 定価: 本体7,200円+税 公共・学校図書館用堅牢製本



日高 庸晴 (ひだかやすはる)

宝塚大学看護学部 教授。京都大学大学院医学研究科で博士号(社会健康医学)取得。文部科学省や法務省の人権啓発事業の一環で、セクシュアルマイノリティ理解推進・啓発事業や教員研修などに従事している。著書に『もっと知りたい! 話したい! セクシュアルマイノリティ 全3巻』(汐文社)、『セクシュアルマイノリティってなに?』(少年写真新聞社)など。

すべての人が、性について、自分らしい表現で、  
誇りを持ち、望むように生きる権利がある。

これは、このシリーズの一番大切なメッセージです。  
まだ、言葉の意味がよくわからないかもしれないけれど、  
最後のページを閉じるとき、この言葉がきっと  
みんなの笑顔や、勇気や、生きる力になるはずです。



下記の注文書をお近くの書店でご注文ください。小社から送付する場合、代金引換・送料230円がかかります。

----- きりとり -----

注文書

ご注文数

レインボーフラッグ誕生物語	ISBN978-4-8113-2467-8 本体1,600円+税	冊
もっと知りたい! 話したい! セクシュアルマイノリティ ありのままのきみがいい 全3巻	ISBN978-4-8113-1107-4 本体7,200円+税	セット
1巻 セクシュアルマイノリティについて	ISBN978-4-8113-2238-4 本体2,400円+税	冊
2巻 わたしの気持ち、みんなの気持ち	ISBN978-4-8113-2239-1 本体2,400円+税	冊
3巻 未来に向かって	ISBN978-4-8113-2240-7 本体2,400円+税	冊

番線印



〒102-0071  
東京都千代田区富士見 1-6-1  
富士見ビル1階

ご注文はこちら

FAX 03-6862-5202

☎ 03-6862-5200